

## 岡崎颯馬 ラグビー選手(静岡ブルーレヴズ)

### 早稲田大学

### スポーツ科学部スポーツ科学科卒

私の学生生活は整った環境の中で自分の知識や能力、経験などを最大限に向上させることができた充実した4年間でした。

早稲田大学スポーツ科学部という学部ではスポーツバイオメカニクスやスポーツコーチングにおいて最新の機械や論文、知識を持った教授の方からゴールデンエイジの子供たちに適した指導法や各世代に合ったトレーニング方法などこれから私が教師やコーチという立場を目指すうえで必要な知識を学ぶことができました。また、教職課程を取得する中でスポーツ科学部以外の学部にも所属する多くの学生とも交流する機会が多くありました。その学生たちはこれまでスポーツを中心に生活してきた私とは違う経験や考え方を持っており、その学生と一緒に教育方法や教育課題について考える機会は私にとって新しい考え方やモノの見方を持つことができました。その時間は多様性が進む現代において自分自身の成長に大きくつながったと感じています。

そして私が一番成長を感じたのはラグビー蹴球部での活動です。ラグビーのスキルや戦術などは整った環境の中やトップのコーチの方々からの指導のもと格段に成長できたと思います。しかし私がそれ以上に成長したと感じるのは人間性やリーダーシップ、ブランド力などについてです。私が所属していた部は100年を超える歴史の中で大学最多優勝を誇るチームでした。その環境の中でプレーするという「責任」を公式戦に出場し続けることやチームとして活動する中で身に着けることができました。特に4年生の頃は副将を務め、チームのリーダーとして先頭になって戦う経験はすごく重圧もありましたが、何にも変えることができない大きな経験でした。そしてブランド力という面は多くの人から憧れを持たれる集団の一員として行動、言動のすべてに気を付けなければいけないことを学びました。

これらの4年間の経験はこれからの私を大きく前進させてくれる貴重なものだと感じています。

現在、大学を卒業し、社会人として会社で働きながらラグビーをプレーする中でこの4年間で学んだことはすごく生かされています。たとえば礼儀の必要性や目標をもって業務やラグビーに取り組むことなどこれまでの学びがあるからこそ余裕を少しもって取り組んでいます。

これからはラグビーの面で日本代表を目指し、さらに成長していきます。これから高みを目指すうえで行動や言動はさらに大事になってくると思うので、子供たちから目標とされたり多くの人から応援されたりする選手になるために意識していきます。

そして長崎の子供たちに夢を与え、最終的に地元に戻り恩返しができるよう日々頑張ります。